

令和5年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

たゆまぬ創意工夫による優良なトドマツコンテナ苗の安定供給

○氏名又は名称 谷口 淳一

○所在地 北海道北斗市

○出品財 技術・ほ場（苗ほ）

○受賞理由

・地域の概要

北斗市は、北海道の南西部に位置し、南は函館湾に面しており、対馬暖流の影響を受け、最低気温は1月の -4°C 、最深積雪は50cm程度と道内では比較的降雪量が少ない温暖な地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

谷口氏は父が設立した有限会社谷口精光園の代表取締役役に平成25年に就任すると、平成26年度から、気象害を受けにくく、また育苗作業を通年化できるコンテナ苗生産に着手した。トドマツコンテナ苗1,200本から毎年生産規模を拡大し、令和4年度ではトドマツコンテナ苗30万本、カラマツやクリーンラーチのコンテナ苗を合わせると約52万本を作付け、コンテナ苗生産量としては道内3位で、トドマツコンテナ苗は全道の約4割を占めている。積極的な設備投資による事業形態の刷新や労働環境の改善等により効率的な生産を行い、北海道の代表的なコンテナ苗生産者として優良なコンテナ苗を安定的に供給している。

・受賞者の特色

(1) 創意工夫による現場のニーズを踏まえた優良なトドマツコンテナ苗の生産

試験研究に熱心な谷口氏のコンテナ苗生産技術は全国的にみても非常に高い。特にトドマツコンテナ苗は、出荷までに概ね4年の長い育苗期間を要するほか、苗長に差が生じやすい、根鉢が中央から崩れやすいなどの特有の課題がある中、植栽時の労働負荷や下刈り作業の軽減が期待できる大きい規格のコンテナ苗として苗長を揃えた出荷を可能にし、また根鉢を生分解性不織布で包むことで梱包や輸送、植栽の際に崩れないようにするなど、現場のニーズを踏まえ技術改良を重ねた結果、谷口氏のトドマツコンテナ苗は、植栽する事業者から高い評価を受けている。

(2) 合理的な土地利用と作業効率化の創意工夫が生み出す高い苗木生産能力

ほ場や施設内の舗装化や移動式レール台車、プラスチックパレットの育苗台の導入、ハウスについてはスマートフォンやPCで内部の温湿度等の情報を取得し、遠隔操作による灌水、液肥、殺虫殺菌を可能とする設備の導入等、合理的な土地利用や苗木生産効率を高めるための創意工夫に徹底して取り組むことで、高い苗木生産能力を生み出すとともに、作業者の労働負荷の低減を実現している。冬期の作業が可能となったことで18人を通年雇用している。また、雇用者44人のうち38人が女性であり、常に暖かくきれいなトイレの設置をはじめ、女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

・普及性と今後の発展方向

同業者との交流も積極的に行い、自らが得た知識を惜しみなく共有するなど、業界全体の発展を目指している。積極的に設備投資を行い、施設を進化させる意欲に溢れており、既に生産に取り組んでいるクリーンラーチ及びトドマツのコンテナ苗生産施設を更に拡充し、大幅な生産増加を目指している。